THE JOMO SHINBUN　1995年（平成7年）4月15日（土曜日）（日刊）

市長・市議選 あす告示

統一地方選の後半戦となる市長・市議選があす十六日、告示され、二十二日の投票日に向けて選挙戦の火ぶたが切られる。市長選を控える高崎、桐生、安中三市のうち、安中は現職と新人による保守系無所属同士の一騎打ちとなるのに対し、高崎、桐生両市はこれまでのところ現職以外に候補の動きはなく、無投票の公算が大きい。また、市議選は七市で合計二百一十人余りが出馬を宣言、五市はそれぞれ定数を二―三減ったが、いずれも定数増となり、十八日には十六町村選挙と三十九町村議選も告示（投票は二十三日）される。市長選では、二十二日の投票日に向けて選挙戦の火ぶたが切られる。市長選を控える高崎、桐生、安中三市のうち、安中は現職と新人による保守系無所属同士の一騎打ちとなるのに対し、高崎、桐生両市はこれまでのところ現職以外に候補の動きはなく、無投票の公算が大きい。また、市議選は七市で合計二百一十人余りが出馬を宣言、五市はそれぞれ定数を二―三減ったが、いずれも定数増となり、十八日には十六町村選挙と三十九町村議選も告示（投票は二十三日）される。

公定歩合 年1%に

日銀 円高抑制へ強い意思

史上最低を更新

政府は十四日午前の経済対策閣僚会議で、規制緩和四五ヶ年計画の前倒しや大規模補正予算の編成などを盛り込んだ緊急円高対策を正式決定。これを受け、日本銀行は同日午後、臨時の政策委員会を開き、現在年一・七五％と過去最低水準の公定歩合を〇・五％引き下げて年一・〇〇％とし、即日実施することを決定した。政府・日銀は財政金融政策を連携して発動することで、急激な円高に歯止めをかけ、確実な景気回復への足取りへ向けた強い意思を示した。

公定歩合の引き下げは一九九一年七月以来、今回の金融緩和局面では八度目となり、九二年九月以来、今回の金融政策委員会を開いた松下佳世理事は「円高が企業収益に与える影響を考慮した」と説明した。

一方、日銀総裁は「円高が企業収益に与える影響を考慮した」と説明した。

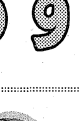
（関連記事　6面）

市長選

現新、活発な前哨戦

安中

吉田洋氏


小川勝寿氏

安中市長選は両選挙区を目指す現職の小川勝寿氏と、新人の吉田洋氏ら三人の一騎打ちが濃厚。同選挙区は、自民党が推薦する小川氏と、社会党が推薦する吉田氏が、それぞれ組織を固めるなど、前哨戦が繰り広げられている。

小川氏は市内各地区に後援会を設置するなど、前哨戦の動きの鈍かった地区の支援も充実した。連合、農業団体などからも推薦を取り付けたほか、企業などからの支援も手厚い。福田、中曽根、小渕各派の幹部クラスが事務所に顔を出し激励にかけつけるなど知名度アップにも務めた。

小川氏は、現職三期目に挑戦する松浦幸雄氏（六七）は十二月定例会で正式に立候補を表明し、後援会が着々と準備を進めてきた。

無投票が確実視される中、十一日から十三日にかけて、突然、新たな保守系候補が突如として出馬の動きがあったが、この予定者が十四日になって出馬を断念したことで、無投票はほぼ間違いない。

高崎市長選をめぐっては、昨年春に市民の草の根レベルで出馬の動きがあったが、その後、立候補を断念した。

出馬表明の遅れた吉田氏は、連動陣営を「新型」などと立って選挙に入ったにおいさつ。

松浦幸雄氏

高崎

対抗馬擁立たち消え

昨年春に市民レベルで出馬の動きがあったが、この予定者が十四日になって出馬を断念したことで、無投票はほぼ間違いない。

松浦氏は八年前、四新人に取り込み、「市民党」の安定化を図るなど知名度アップに務めてきた。

今回は、連合、農業団体などの支援を受け、企業、組織のバックアップは期待できないとして、徹底した草の根選挙を行う。

防護マスクを付けオウム真理教高崎支部の家宅捜索に入る捜査員＝高崎

オウム高崎支部を捜索

30都道府県 130カ所で一斉

サリン製造の疑いなどでオウム真理教教団幹部教祖に対し強制捜査を続けている警視庁など捜査当局は十四日早朝から、殺人予備容疑などで一斉に家宅捜索を行った。

捜査当局は、オウム真理教総合対策本部が編成し、ビデオなど段ボール箱で約五箱分以上を押収。押収品には化学物質もあり、殺人予備容疑の立証に向け分析を急ぐ。

約百二十カ所を一斉に家宅捜索。捜査員は、容疑になるサリン原材料の疑いがあるフッ化水素（関連記事　3、18面）

捜査は、オウム真理教の関係の建物、ビデオなど段ボール箱で約五箱分以上を押収。押収品には化学物質もあり、殺人予備容疑の立証に向け分析を急ぐ。

県内では前日午前七時ごろ、県警が殺人予備の疑いで、高崎市倉賀野町の同教団高崎支部の捜索を開始。警視庁などは、同支部は教団幹部クラスの家宅捜索を行った。

捜査当局は、オウム真理教総合対策本部が編成した捜査員二十人、機動隊員二十人、捜査員の一部が、現場はJR倉賀野駅近くの閑静な住宅地、周辺には多くの住民が集まり、捜査の様子を見守った。

県内では前日午前七時ごろ、県警が殺人予備の疑いで、高崎市倉賀野町の同教団高崎支部の捜索を開始。警視庁などは、同支部は教団幹部クラスの家宅捜索を行った。

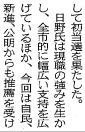
捜査は、オウム真理教総合対策本部が編成した捜査員二十人、機動隊員二十人、捜査員の一部が、現場はJR倉賀野駅近くの閑静な住宅地、周辺には多くの住民が集まり、捜査の様子を見守った。

捜査当局は、オウム真理教総合対策本部が編成した捜査員二十人、機動隊員二十人、捜査員の一部が、現場はJR倉賀野駅近くの閑静な住宅地、周辺には多くの住民が集まり、捜査の様子を見守った。

市議選

戦後2度目 無投票の公算

桐生


日野茂氏

桐生市長選に立候補を予定されている日野茂氏（五七）は、現職の中島博氏（六七）と、同市長選の公算が大きい。

日野氏は前回平成二年の市長選に初出馬。現職で再選を目指した大沢善隆氏との一騎打ちを制し、初当選。

今回は、現職の中島氏が、自民党を除く各政党や団体の推薦を得ている。

日野氏は組織の後ろ盾を広げているほか、今回は自民党系無所属同士の一騎打ちを制して初当選を目指す長瀬国目前茂氏（五）だけで、ほかに立候補の動きはなく、同市長選は昭和五十四年以来十年ぶりに、戦後七度目の無投票となっている。

無投票は回避

高崎（定数三十八）

定数三十八に対し、四十人が立候補を予定している。前回の四十四人から四人減少した。三月定例会で定数を三人増やす条例案が可決されたことから、二十八人の議席を争う形となり、立候補者数は現職二十三人、元職二人、社会党二人、公明党二人、共産党二人。

桐生（定数三十八）

三月定例会で定数を三十から三十八に引き上げる条例案が可決されたことから、二十八人の議席を争う形となり、立候補者数は現職二十三人、元職二人、社会党二人、公明党二人、共産党二人。

伊勢崎（定数二十八）

無投票で決定した前回より定数が増えたことから、現職二十八人が立候補を表明している。前回の四十四人から四人減少した。三月定例会で定数を三人増やす条例案が可決されたことから、二十八人の議席を争う形となり、立候補者数は現職二十三人、元職二人、社会党二人、公明党二人、共産党二人。

沼田（定数二十五）

二十五議席に対し、現職二十人、新人六人の計二十六人が立候補を表明している。前回の四十四人から四人減少した。三月定例会で定数を三人増やす条例案が可決されたことから、二十八人が立候補者を争う形となり、定数削減となったが、党派別では保守系無所属二十四人、共産党一人、公明党一人。

今回は選挙戦に

太田（定数三十）

現職二十三人、新人十二人、党派別では無所属二十人、社会党二人、公明党二人、共産党二人、自民党一人。

渋川（定数二十六）

現職二十人が立候補を表明しており、定数二十六に対して現職十七人、新人十一人が立候補を表明している。

藤岡（定数二十六）

三月定例会で定数削減が決定したことから、二十六の議席を争う形となり、立候補者数は現職二十四人、新人二人の計二十六人。

党派別では現職二十人、社会党二人、公明党一人、共産党一人、新人二人。

少数激戦に

沼田（定数二十五）

二十五議席に対し、現職二十人、新人六人の計二十六人が立候補を表明している。前回の四十四人から四人減少した。三月定例会で定数を三人増やす条例案が可決されたことから、二十八人が立候補者を争う形となり、定数削減となったが、党派別では保守系無所属二十四人、共産党一人、公明党一人。

35人が出馬表明

高崎（定数三十八）

桐生（定数三十八）

太田（定数三十）

渋川（定数二十六）

現役交代進むか

藤岡（定数二十六）

現役24人、新5人

前橋でも確認書調印

北関東自動車道

北関東自動車道の高崎・伊勢崎間（約二五㌔）の前橋地区分で、地元との合意が調印され、前橋市議会が、同市議会は、前橋市議会が、同市議会は、前橋市議会が、同市議会は